

10/9 2級ヘルパー養成講座を開講

村では在宅福祉ニーズに対応した介護サービスを提供するため、2級ヘルパー養成講座を開講しました。開講式会場となった村公民館には受講生23人（飯館校生12名・一般11名）が訪れました。

受講生たちは、今後、通信教育で知識を身につけながら、実技・実習講義を計72時間受けます。

来年3月に新しいヘルパーが多く誕生することが期待されます。



▲開講式の様子

父子家庭の児童扶養手当手続きについてのご案内

10月20日のお知らせ版でもお知らせしたように、今年8月から父子家庭が児童扶養手当の支給対象に追加されました。11月末までに請求手続きを行うことによって8月までさかのぼって手当を受け取れる経過措置が設けられています。手続きに必要な書類の取得に時間がかかる場合がありますので、**お早めに役場担当窓口までご相談ください。**

○支給制限

請求者本人及びその生計を同じくする扶養義務者等の前年の所得が限度額以上ある場合、本人または児童が年金を受給している場合、事実婚関係にある場合などは、受給できません。

○お問い合わせ 健康福祉課福祉係 (☎ 42-1620)

村では子宮頸がんワクチン接種助成事業を行っています

子宮頸がんは、ウイルスの感染が原因でおこる病気で、20～30代の若い女性に増えています。この子宮頸がんを予防するワクチンが販売開始になったのを受け、村では、今年度中学2・3年生の女子を対象に3回接種分45,000円（1回の接種料金15,000円程度）を上限に、接種費用の助成を行っています。3回の接種で十分な予防効果が得られます。

子宮がん検診のお知らせ

20歳以上の女性を対象に11・12月に5医療機関での検診を受け付けています。希望される方は、10月5日号のお知らせ版をご覧になり、健康福祉課まで申し込みください。

ワクチンで予防！ 検診で早期発見！！

お問い合わせ 健康福祉課健康係 (☎ 42-1619)



までいな健康づくり事業が始まりました

までいな健康づくり事業は、自分の体に関心を持ち、健康習慣を身につけることができるように、また、地区をあげた健康づくりにつなげられるよう支援していく事業です。村で5年間の計画をつくり、年度ごとにモデル地区を選定して事業を実施しています。

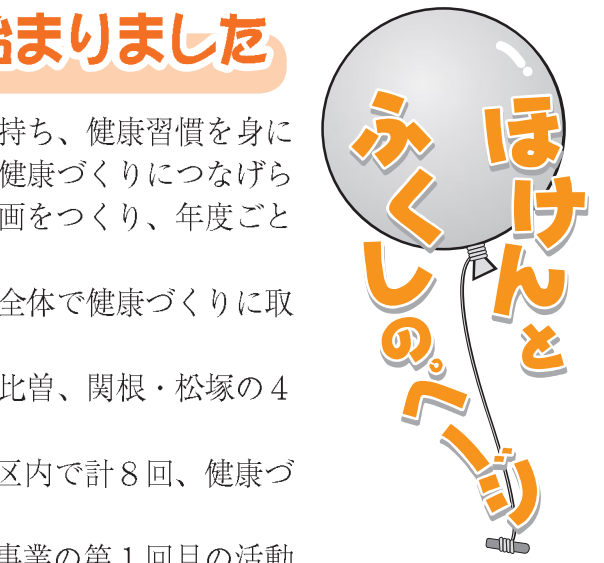
今年度は5年計画の3年目です。最終年度には村全体で健康づくりに取り組んでいる方が増えることを目指しています。

今年度のモデル地区は、大倉、前田・八和木、比曾、関根・松塚の4行政区です。

10月14日を皮切りに来年の2月までモデル地区内で計8回、健康づくりに関する活動を行う予定です。

10月14日、比曾行政区集会場において、この事業の第1回目の活動となる、医療法人桜樹会八子医院 副院長八子芳樹先生の講演会が開催されました。

八子先生は、高脂血症や高血圧など、運動と食生活で生活習慣病を撃退する方法についての講演を行いました。



▶講演を行う八子先生

10/22 草野幼稚園食育体験教室開催



▲体験教室の様子

草野幼稚園で「地産地消食育体験教室」が開催され、子どもたちが育てたさつま芋を使い、自分たちで作って食べる体験を通して食の大切さを学びました。飯館村食を考える会員の指導のもと、全園児が小さな手と豊かな創造力でいろいろな形の茶巾しぼりを作りました。また、保護者役員と会員で、さつま芋と顆粒大豆肉団子シチューも作りました。

参観に出席していた祖父母と一緒に食育紙芝居でさつま芋の栄養について勉強しながら、楽しく会食しました。

知っていましたか？飲み物のカロリーと糖分

	砂糖量 (5gスティック)	カロリー	ごはん 換算
ヤクルト	2本分	45kcal	0.3杯分
コーラ 350ml	7本分	137kcal	0.9杯分
スポーツ飲料 350ml	4本分	86kcal	0.5杯分
缶コーヒー	5本分	75kcal	0.5杯分

☆食育について
村では、子どもの頃から食に関する知識や望ましい食習慣を身につけることができるよう、健診時の離乳食指導、親子料理教室、栄養教室などを開催し、食育に取り組んでいます。食事とおやつの影響で虫歯になる幼児や、朝食を食べない児童・生徒が増えている状況を見直し、小児生活習慣病予防のため、関係機関が連携して食育を推進して行きますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

までいな健康づくり事業